

# DPC特別調査

## 当院におけるコーディングについて

平成25年4月3日



北里大学病院  
Kitasato University Hospital

1

### 内 容

---

- (1)北里大学病院について
- (2)コーディングに係る部門の体制について
- (3)適切なコーディングに関する委員会について
- (4) DPC/PDPSのコーディング手順について  
診療情報管理士のチェック例
- (5)コーディングマニュアル案に対する意見について
- (6)DPC制度についての要望

2

# (1)北里大学病院について①

- 昭和46年 開設
- 昭和61年 救命救急センター棟を新設
- 平成5年 特定機能病院
- 平成15年 DPC参加
- 平成24年 電子カルテ導入
- 平成26年 新病院開院



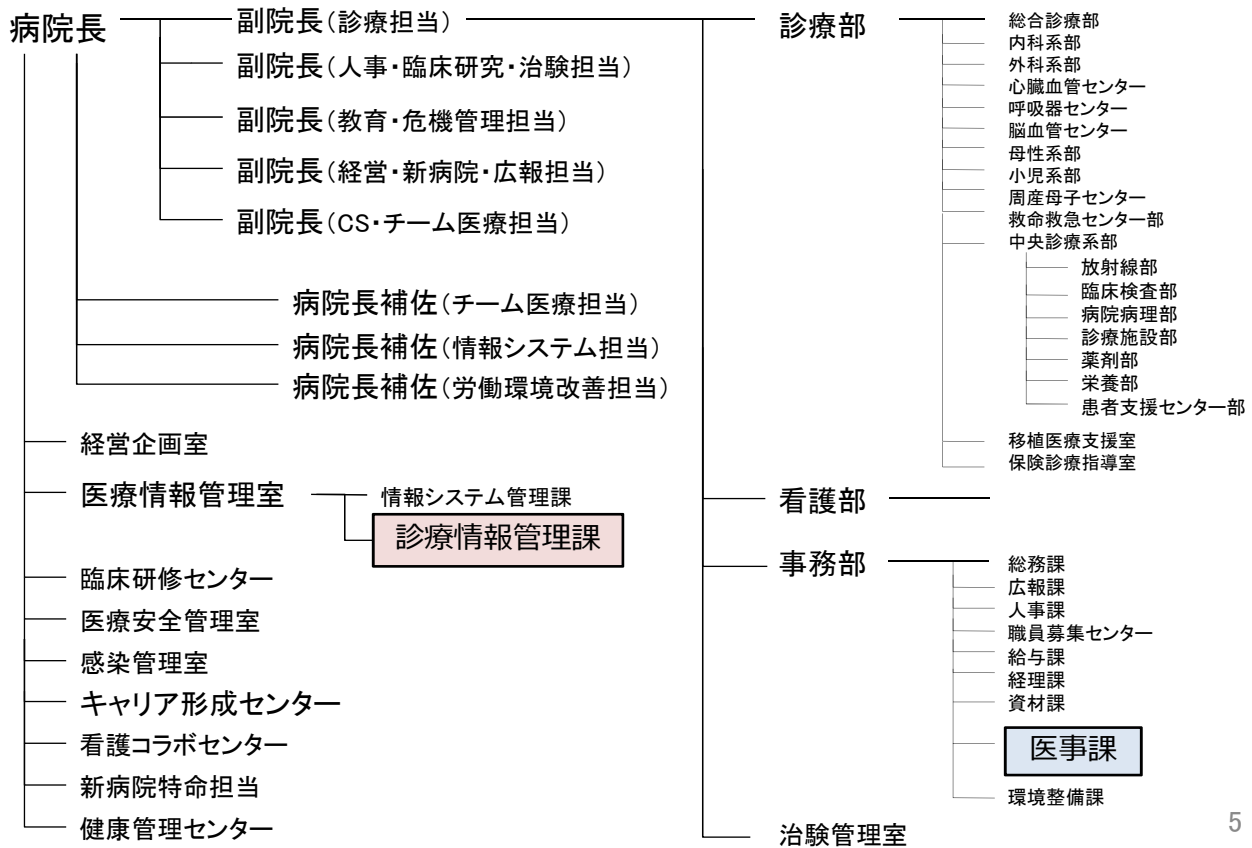
基幹型臨床研修病院  
 日本医療機能評価機構認定病院  
 地域がん診療連携拠点病院

**病院の理念**  
 『患者中心の医療』 『共に創りだす医療』

# (1)北里大学病院について②

所在地	神奈川県相模原市南区北里 1-15-1	
標榜診療科名	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科、麻酔科	
稼働病床数	969床	
職員数（平成24年4月現在）※非常勤を含まず	2,166名	
再掲 医師・歯科医師（研修医を除く）	408名	
再掲 研修医数	113名	
再掲 看護要員数（保健師・助産師・看護師・准看護師・看護補佐）	1,140名	
外来患者数（平成24年度 月平均）	52,715件/月	
外来患者数（平成24年度 日平均）	2,348件/日	
紹介率（平成24年度 平成24年2月現在）	81.1%/月	
1日平均初診患者数（平成24年度 平成24年2月現在）	74.3件/日	
病床稼働率（平成24年度 年平均 平成24年2月現在）	86.0%	
平均在院日数（平成24年度 年平均 平成24年2月現在）	13.4日	
手術件数（平成24年度 11か月合計）	12,674件	
実入院件数（平成24年度合計）	21,191件	
実退院件数（平成24年度合計）	21,216件	
DPC退院件数（平成24年度合計 平成24年4月1日集計時点）	18,913件	

## (2) コーディングに係る部門の体制について①



5

## (2) コーディングに係る部門の体制について②

### 診療情報管理課

- 主な業務内容

傷病情報登録、DPC、がん登録、外傷登録などのデータベース作成  
記録の点検、各種統計などの情報活用、クリニカルパス運用支援、ほか

- 配置人数

診療情報管理士 8名(正規職員(専従)7名、派遣職員(専従)1名)  
診療情報管理士以外 9名(正規職員(専従)7名、契約職員(専任)2名)  
業務委託 (9名程度)

※ コーディングチェックは、診療情報管理の一環として遂行

**DPCの実務は、診療情報管理士に限定し6名で遂行。**

### 医事課

- 入院診療報酬請求の担当者の配置人数(計13名)

正規職員(専従)11名、契約職員(専従)1名、派遣職員(専従)1名

6

## (3)適切なコーディングに関する委員会について ①

---

### 【開催頻度】

- ・ 診療報酬・DPCに係る委員会を毎月開催。
- ・ コーディングに特化した議題は、年に2回。

### 【委員会の構成】

- ・ 27診療科、6部署
- ・ 医師51名、コメディカル3名、診療情報管理士3名、医事課1名  
(計58名)
- ・ 委員会事務局は、医事課

### 【平成24年度のコーディングに関する議題】

- ・ データ提出指数の「部位不明・詳細不明コード」の留意点について
- ・ 医療資源病名などの選択に係る留意点について

7

## (3)適切なコーディングに関する委員会について ②

---

コーディングに関する理解を深めるための取組み

### 院内研修会

全職種を対象とした診療報酬に係る研修会(直近は平成24年12月に開催)

### 診療情報管理士

- ①日本病院会 診療情報管理士通信教育「DPCコース」受講
- ②日本診療情報管理学会 学術大会における研究活動
- ③日本診療情報管理学会 「診療情報管理士生涯教育研修会」受講
- ④日本診療情報管理士会 研修会受講
- ⑤その他の学会、研究会、セミナーへの参加
- ⑥部門内勉強会

### 医事課職員

- ①日本私立医科大学協会医療事務研究会(年2回、各2名参加)
- ②相模医療事務研究会(月1回、2名参加)

8

## (4)DPC/PDPSのコーディング手順について ①

### 〔概要〕

#### ① 担当医

診療の過程で、傷病名およびコーディングを確認

#### ② 診療情報管理課

入院時、月末(定期請求)、退院時に、コーディングをチェック

#### ③ 医事課

チェックされたコーディングに基づいて、診療報酬請求を行う。

診療情報管理部門、医事課は、

不明な点があれば担当医に確認を行う。

9

## (4)DPC/PDPSのコーディング手順について ②

### 〔手順〕

入院

~3日以内

#### ① 診療情報管理課 仮コーディング

目的 定期請求および退院時請求のコーディングの効率化を図る

情報源 電子カルテを参照(診療録・入院診療計画書など)

#### ② 担当医 診療過程で傷病名およびコーディングを確認

月末

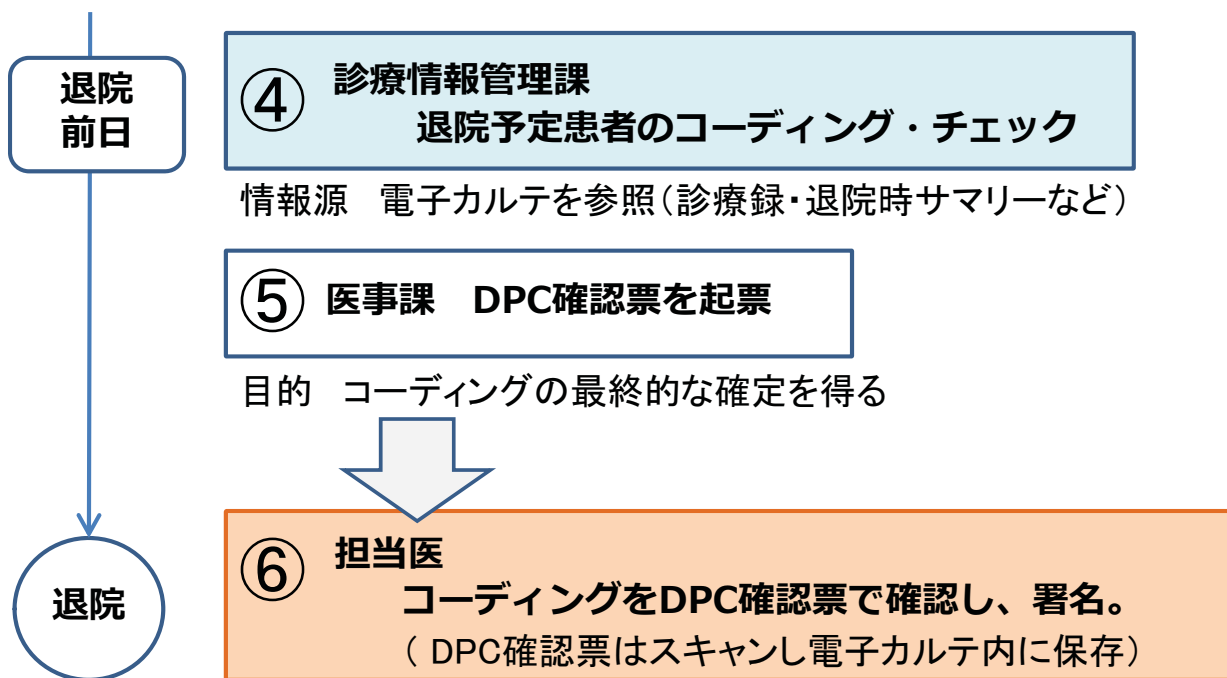
#### ③ 診療情報管理課 コーディングの修正の必要性を確認

目的 出来高算定への切り替えを確認

対象 特定入院期間を超えた患者。 今後は転科にも拡大

10

## (4)DPC/PDPSのコーディング手順について ③



現在は、DPC退院患者のおよそ20%について、退院当日に請求しています。今後1年以内に、原則、すべてのDPC退院患者について、退院当日の請求とする計画です。

11

## (4)DPC/PDPSのコーディング手順について ④

### 【月末の入院】

月初の保険請求作業までに確定した情報でコーディング  
定期請求あるいは退院時請求で、コーディングに修正が生じれば差額調整。

### 【時間的余裕がない】

退院当日のDPC請求は無理に行わず、後日に改める。

### 【コーディングが分かれた事例】

複数の担当医の間、または事務部門と担当医の間

- ・ 転科の場合などは、担当医の間で相談し決定する。
- ・ 担当医には、診療情報管理部門ならびに医事課から、適正な判断に必要な情報提供を行う。

審査支払機関との間

- ・ 事案に応じて検討し、審査支払機関に連絡。
- ・ 必要に応じ症状詳記を提出。

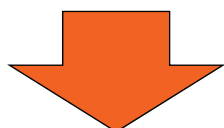
12

## 診療情報管理士のチェック例 ①

○病因を診療録で確認することが、診療情報管理の原則

チェック前

医療資源病名	<b>K74.6</b> 肝硬変症	
060300xx99xx00x 肝硬変症		
～6日 2,578点	7日～15日 2,018点	16日～37日 1,715点



「アルコール性」の情報有り、医師に確認

チェック後

医療資源病名	<b>K70.3</b> アルコール性肝硬変症 (WHOのルールにより、コード修正)	
060280xxxxxxxxx アルコール性肝疾患		
～8日 2,666点	9日～15日 1,920点	16日～36日 1,632点

13

## 診療情報管理士のチェック例 ②

○たとえ、DPCが変わらない場合でも確認

チェック前

医療資源病名	<b>N18.0</b> 末期慢性腎不全	
110280xx9900xx 慢性腎不全		
～6日 2,614点	7日～13日 1,980点	14日～32日 1,683点



「高血圧性」の情報有り、医師に確認

チェック後

医療資源病名	<b>I12.0</b> 高血圧性腎不全 (WHOのルールにより、コード修正)	
DPC 変更なし		

14

## (5)コーディングマニュアル案に対する意見について

DPC/PDPS 傷病名コーディングガイド 2012年12月1日:Ver.0.75

3ページの医療資源病名に関する記載が大変わかりにくく、相互に矛盾しているように読み取られる可能性がありますので、改善を希望します。

下記の様に、考慮事項を列挙し、優先順位を示した方がわかりやすいのではないのでしょうか。

### (例) 医療資源病名の選択の原則

1. 一入院一医療資源病名
2. 医療資源を最も投入した傷病名
3. 病態を最も適切に表す
4. 請求した手術等の診療行為との一致
5. 最も診療報酬が高い診療行為を行った傷病
6. 原因疾患がはっきりしている場合、「不全病名」・「疾患の部分的現象」を選択しない
7. 医療資源病名と実施手術、処置との間に「乖離」がある場合→診療録・レセプト・症状詳記に記載する

15

## (6)DPC制度についての要望

診療情報管理部門および診療情報管理士等の役割の明確化を希望します。

### ●DPC/PDPS 傷病名コーディングガイド 2012年12月1日:Ver.0.75

7ページ「診療記録への必要な事項の記載を徹底させない限り、このような情報を得ることは困難である。」  
9ページほか「診療情報管理士等の監査役の確認が必須である。」

### ● DPC対象病院の基準

② 医科点数表に掲げるA207**診療録管理体制加算**に係る届出を行っていること

【診療録管理体制加算に関する施設基準】

- (1) 診療記録(過去5年間の診療録並びに過去3年間の手術記録、看護記録等)の全てが保管・管理されている。
- (2) 中央病歴管理室が設置されている。

(3) **診療録管理部門又は診療記録管理委員会が設置されている。**

(4) 診療記録の保管・管理のための規定が明文化されている。

(5) **1名以上の専任の診療記録管理者が配置されている。**

(6) 保管・管理された診療記録が疾病別に検索・抽出できる。

(7) 入院患者についての疾病統計には、ICD大分類程度以上の疾病分類がされている。

(8) 全診療科において退院時要約が全患者について作成されている

(9) 患者に対し診療情報の提供が現に行われている。なお、この場合、日本医師会が作成した「診療情報の提供に関する指針」を参考にする

### ● 疑義解釈資料の送付について(その1) H24.3.30. 厚生労働省保険局医療課

1. DPC対象病院の基準

(問1-1) 診療記録管理者とはどのような業務を行う者か。

(答) 診療情報の管理、入院患者についての疾病統計にはICD-10による疾病分類等を行う

**診療情報管理士等**をいう。

16



# (参考) 診療情報管理士とは(Health Information Manager) ①

## 資格認定団体

日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会、医療研修推進財団  
**認定者数** (平成24年5月現在)

25,469人 (医師 363名、看護師 1,718名、ほか 22,372名)

**業務範囲** (日本診療情報管理学会「診療情報管理士業務指針」抜粋より)

- ・ 診療情報を体系的・一元的に管理する業務
- ・ 診療情報を安全に管理する業務
- ・ 診療情報を点検する業務
- ・ 診療情報を有効に活用する業務
- ・ 診療情報を提供する業務

## 業務実例

- ・ 診療情報の保管管理・記録点検、監査
- ・ データベース作成 (疾病、DPC、がん登録、NCDなど)
- ・ DPC請求支援、データ作成・分析
- ・ クリニカルパス作成支援、バリエーション分析
- ・ 診療情報の提供・利活用 (統計・情報抽出、開示、医療の質向上、患者安全など)
- ・ 個人情報保護に係る職員の指導教育
- ・ 病院情報システム構築、維持
- ・ 病院経営企画

## スキルアップ研修

- ・ 日本診療情報管理学会(学術団体) 診療情報管理士生涯教育研修会 平成25年度は全国6会場で開催予定
- ・ 日本診療情報管理士会(職能団体) ICDコーディングスキルアップ研修会 平成24年度は全国7会場で実施

17

# (参考) 診療情報管理士とは(Health Information Manager) ②

## 認定試験 受験資格

日本病院会の「診療情報管理通信教育」を2年間受講(1972年開講)

または、「受験認定指定校」にて必須科目を履修

**認定試験 受験認定指定校** (H25.1.18.現在)

4年制大学19校、3年制短期大学5校、専門学校(3年制)50校

## 認定試験

年1回 (合格率 毎年、約50%程度)

## 診療情報管理通信教育の教育カリキュラム

基礎課程					専門課程					
No	授業科目	自習時間	面接授業	単位	No	授業科目	自習時間	面接授業	単位	
1	医療概論	17時間	3時間	2	1	医療管理総論	17時間	3時間	2	
2	人体構造・機能論	17時間	3時間	2	2	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	17時間	3時間	2	
3	臨床医学総論(外傷学、先天異常等含む)	17時間	3時間	2	3	医療管理各論Ⅱ(診療報酬制度と評価指標)	17時間	3時間	2	
4	臨床医学各論Ⅰ(感染症および寄生虫症)	17時間	3時間	2	4	医療情報学	17時間	3時間	2	
5	臨床医学各論Ⅱ(新生物)	17時間	3時間	2	5	医療統計学	17時間	3時間	2	
6	臨床医学各論Ⅲ(血液・代謝・内分泌等)	17時間	3時間	2	6	診療情報管理論Ⅰ(総論)	17時間	3時間	2	
7	臨床医学各論Ⅳ(精神・脳神経・感覚器系等)	17時間	4.5時間	2	7	診療情報管理論Ⅱ(実務)	17時間	3時間	2	
8	臨床医学各論Ⅴ(循環器・呼吸器系)	17時間	3時間	2	8	国際疾病分類概論	17時間	3時間	2	
9	臨床医学各論Ⅵ(消化器・泌尿器系)	17時間	3時間	2	9	分類法A	17時間	3時間	2	
10	臨床医学各論Ⅶ(周産期系)	17時間	3時間	2	10	分類法B	17時間	3時間	2	
11	臨床医学各論Ⅷ(皮膚・筋骨格系)	17時間	3時間	2	11	分類法C	17時間	3時間	2	
12	医学用語	17時間	3時間	2	12	分類法D	17時間	3時間	2	
計				204	37.5	24	計			
				204	36	24				